

江田島市教育委員会事務点検・評価報告書
(令和2年度事業対象)

令和3年6月
江田島市教育委員会

目 次

1	教育委員会の点検・評価制度の概要	1
2	点検・評価の結果（8事業）	
	・信頼される学校づくりを推進する	2
	・児童生徒の学力の向上を図る	4
	・児童生徒の豊かな心を育成する	5
	・児童生徒の体力向上を図る	6
	・魅力ある事業づくりを推進する	7
	・健康づくり，体力づくりを推進する	8
	・図書館の充実を図る	9
	・さとうみ科学館の認知度を高める	10
3	外部評価委員の意見	11
4	総合評価	15
5	その他	16
資料1	令和2年度江田島市教育委員会 経営計画	19
資料2	令和2年度江田島市教育委員会 自己評価表	21

1 教育委員会の点検・評価制度の概要

(1) 点検・評価の趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条により、平成20年4月から教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表することを義務付けられました。

この報告書は、同法の規定に基づき、江田島市教育委員会が行った点検・評価の結果をまとめたものです。

なお、同法の規定の「教育に関し学識経験を有する者」については、本市では、外部評価委員（3名）とし、教育委員会自らが行った点検・評価の結果に対して、意見をいただきました。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

(2) 点検・評価の対象年度

令和2年度

(3) 点検・評価の対象事業

教育委員会は、令和元年度末の現状を分析した上で、特に重点を置いて取り組みたい8事業を定め、令和2年度江田島市教育委員会経営計画としてまとめました。

令和2年度に実施したこれら8事業の取組を点検・評価の対象とします。

令和2年度 点検評価票〔最終〕

中期経営目標	信頼される学校づくりを推進する。
短期経営目標	教職員による不祥事を0（ゼロ）にする。

1 短期経営目標（具体）

教職員による不祥事を0（ゼロ）にする。（目標値：懲戒処分件数 0件）

2 取組・方策

○校長会、教頭・事務長会等において、「服務規律の確保」に関する内容の講話等を行った。（実施日及び内容は、別紙の通り）

また、各校が実施した服務研修の好事例を紹介し、各校の服務研修に生かせるようにした。

○開かれた学校づくりの推進に係り、各校のHPの充実を中心に指導助言を行った。

○5月を「不祥事根絶強化月間」とし、重点的な取組を行った。

・以下の2点について取り組み、実施率は100%であった。

①管理職は、目標管理に係る業績評価（自己申告）における当初申告の面談時に不祥事根絶に係る指導を行う。

②服務研修（校内研修）において、過去に江田島市で生じた懲戒処分事案を扱う。

○全児童生徒に「体罰」「セクシュアル・ハラスメント」のアンケートを実施した。

・各学校の実施率は100%で、体罰、セクシュアル・ハラスメントに該当する事案は生起していない。

3 評価

評価指標	懲戒処分件数
実績値（令和元年度）	0件
目標値（令和2年度）	0件
総合評価	0件

○定めた取組・方策を計画的に実施し、現時点では目標を達成している。

4 改善策

○今後も、校長会、教頭・事務長会において、「服務規律の確保」に関して講話を行う等、取組を行う。

令和2年度江田島市教育委員会主催研修における服務研修一覧

月	日	曜日	研修名	内容
4	3	金	校長会	服務規律の確保について
	16	木	教頭・事務長会	服務規律の確保について
5	13	水	校長会	服務規律の確保について
	15	金	教頭・事務長会	服務規律の確保について
6	4	木	校長会	服務規律の確保について
	10	水	第1回初任者研修	服務規律の確保について
7	1	水	校長会	服務規律の確保について
	14	火	教頭・事務長会	服務規律の確保について
9	1	火	校長会	服務規律の確保について
	15	火	教頭・事務長会	服務規律の確保について
10	6	火	校長会	服務規律の確保について
	27	火	教頭・事務長会	服務規律の確保について
11	4	水	校長会	服務規律の確保について
12	3	木	校長会	服務規律の確保について
	8	火	教頭・事務長会	服務規律の確保について
1	5	火	校長会	服務規律の確保について
	12	火	教頭・事務長会	服務規律の確保について
2	4	木	校長会	服務規律の確保について
	16	火	教頭・事務長会	服務規律の確保について
3	2	火	校長会	服務規律の確保について

令和2年度 点検評価票〔最終〕

中期経営目標	児童生徒の学力の向上を図る。
短期経営目標	習得した知識・技能を活用する力を向上させる。

1 短期経営目標（具体）

習得した知識・技能を活用する力を向上させる。

（目標値：江田島市小中学校学力調査を実施した全学年において、平均正答率が全国平均値を上回る。対象教科は、小学校国語・算数、中学校国語・数学とする。）

2 取組・方策

- 各校の研究主任を対象に「教務主任連絡会」を実施し、臨時休業中の学習指導に係る取組を交流・協議し、各校の学習保障の取組の充実に生かせるようにした。（5月13日）
- 各校の研究主任を対象に『学びの変革』推進協議会を実施し、課題発見・解決学習に係る講義及び実践交流を行い、各校の日頃の授業改善に生かせるようにした。（9月16日）
- 各校の教務主任を対象に「教務主任研修」を実施し、学習評価及び授業改善に係る講義及び演習を行い、各校の組織的な授業改善に生かせるようにした。（9月24日）
- 各校の管理職（1名）及び教務主任を対象に、江田島市小中学校学力調査結果説明会を実施した。（2月17日）また、各校に学力調査結果を踏まえた指導方法等の改善計画の作成について通知し、組織的な学力向上の取組に繋げる。

3 評価

評価指標	江田島市小中学校学力調査の平均正答率 小学校（国語・算数）、中学校（国語、数学）
実績値（令和元年度）	—
目標値（令和2年度）	江田島市小中学校学力調査の平均正答率 全国平均値以上
総合評価	平均正答率 全国平均値以上について 小学校（国語は、上回った学年はなかった。算数は、第1学年、第3学年、第6学年において上回った。） 中学校（国語及び数学は、上回った学年はなかった。）
江田島市小中学校学力調査の適切な実施に向けて取組を進めたが、目標値は達成できなかった。	

4 改善策

- 来年度も「学びの変革」推進協議会において、各校で研究主任を中心とした主体的な学びを促す授業改善について指導助言を行い、学力向上に向けた授業改善を図る。
- 江田島市小中学校学力調査結果を踏まえた指導方法等の改善計画を効果的に活用し、各校において改善計画に基づいた取組が組織的に行われるよう指導助言を行う。
- 学校訪問や教科部会において学力向上に係る取組状況を把握し、各校の実態に応じた指導助言を行う。

令和2年度 点検評価票〔最終〕

中期経営目標	児童生徒の豊かな心を育成する。
短期経営目標	不登校児童生徒への取組を充実させる。

1 短期経営目標（具体）

不登校児童生徒への取組を充実させる。
 （目標値：不登校児童生徒数の割合 小学校 0.42%（3人）、中学校 1.28%（5人）以下）

2 取組・方策

- 校長会、教頭・事務長会で、問題行動等生徒指導上の諸問題の発生状況を示すとともに、未然防止の取組について指導した。
- 不登校傾向の児童生徒の状況を把握しながら、欠席日数が30日を超える前の段階で、各校の実態に応じた指導助言を行った。また、不登校（傾向含む）児童生徒のいる学校を訪問し、管理職、担任、生徒指導主事、養護教諭と連携し、児童生徒の受け入れ態勢や個に応じた取組の方向性について協議するとともに、関係機関とも連携し、改善を図った。
- 道徳教育推進協議会を活用し、道徳教育推進教師等を対象として、広島県教育委員会豊かな心育成課等の講師を招聘し、児童生徒の豊かな心を育む道徳授業のあり方等について研修を行った。（9月18日、1月19日）
- 9月を「いじめ撲滅月間」とし、重点的な取組を行った。
 - ①いじめ撲滅に向けた児童会・生徒会を中心とした児童生徒の主体的な活動を実施する。
 - ②全児童生徒を対象に行った「いじめアンケート」の結果を分析するとともに、必要に応じて、個別面談等を実施する。
 - ③いじめの未然防止や早期発見に努める。
 - ア いじめは「どの子供にも、どの学校にも起こり得る。」という認識のもと、児童生徒の小さなサインを見逃さず、日頃から児童生徒の状況把握に努め、組織的に対応する。
 - イ 9月は「いじめ撲滅月間」であることを学校便りやホームページ等で保護者や地域の方々に周知し、実施後は各校の取組等を紹介する。
 - ウ 教職員と児童生徒、児童生徒間の共感的な人間関係づくりに努め、児童生徒との絆を深める。

3 評価

評価指標	不登校児童生徒数の割合
実績値（令和元年度）	不登校児童生徒数の割合 小学校 0.83%（6人）、中学校 1.81%（7人）
目標値（令和2年度）	不登校児童生徒数の割合 小学校 0.42%（3人）、中学校 1.28%（5人）以下
総合評価	不登校児童生徒数の割合 小学校 0.69%（5人）、中学校 3.33%（13人）
不登校児童生徒数の割合は、小学校及び中学校において、目標を達成できていない。	

4 改善策

- 今後も、全児童生徒を対象に行った「いじめアンケート」を定期的に行い、結果を分析し、教育相談体制の充実が図られるように指導する。
- 引き続き、不登校傾向の児童生徒の状況を把握しながら継続的な支援を行い、欠席日数が30日を超える前の段階で、各校の実態に応じた指導助言を行う。
- SSR等の環境を整備し、不登校児童生徒一人一人の実態に合わせた支援を行い、学校に不登校児童生徒が安心できる居場所づくりに向けた指導助言をする。

令和2年度 点検評価票〔最終〕

中期経営目標	児童生徒の体力向上を図る。
短期経営目標	体力・運動能力を向上させる。

1 短期経営目標（具体）

体力・運動能力を向上させる。
 （目標値：体力・運動能力調査の全国平均以上の種目数の割合）

2 取組・方策

○臨時休業中の児童生徒の体力づくりに係る資料を校長会及び教頭事務長会、教務主任連絡会で周知し、各校の取組に繋がるようにした。

○広島県教育委員会豊かな心と身体育成課と連携を図り、体育科授業において、体力向上に係る指導が充実するよう取り組んだ。

- ・江田島市中学校教育研究会体育部会 授業研究実施
 令和2年 9月29日（火）・・・江田島市立大柿中学校
 令和2年10月23日（金）・・・江田島市立三高中学校
 令和3年 2月19日（金）・・・江田島市立江田島中学校

○市教委計画訪問において、児童生徒の食生活が充実するよう、学校・家庭・地域が一体となった食育推進に係る指導助言を行った。

- ・江田島学校給食共同調理場 訪問（7月17日）
- ・西能美学校給食共同調理場 訪問（7月15日）

3 評価

評価指標	体力・運動能力調査の全国平均以上の種目数の割合
実績値（令和元年度）	61.8%
目標値（令和2年度）	67%
総合評価	—
コロナ禍における臨時休業等の影響で、体力・運動能力調査が実施されなかったため、評価できない。	

4 改善策

○今後も、広島県教育委員会豊かな心と身体育成課と連携を図り、体育科授業において、体力向上に係る指導が充実するよう取組を行う。

○来年度からは、広島県教育委員会の方針を踏まえ、運動習慣の確立に向けても各校で取組が行われるよう、指導助言を行う。

○今後も、児童生徒の食生活が充実するよう、学校・家庭・地域が一体となった食育推進に係る指導助言を行う。

令和2年度 点検評価票〔最終〕

中期経営目標	魅力ある事業づくりを推進する。
短期経営目標	実施事業に対する満足感の向上を図る。

1 短期経営目標（具体）

実施事業に対する満足感の向上を図る。（目標値：とても満足した来場者割合 62%）

2 取組・方策

○コロナ禍の状況を踏まえ、市美術展以外の事業は全て中止とした。
中止経緯

生涯学習講演会	フェスティバル江田島実行委員会で協議の上中止とした。
人権学習講演会	共催者である市PTA連合会と協議の上中止とした
ふれあいコンサート	沖田孝司氏の招聘を計画したが、協議の上中止とした。

【市美術展】

- 実行委員会において審議を重ね、新型コロナウイルス感染症拡大対策を考慮した計画を進めた。
（ミニコンサートの屋外開催、ワークショップの中止等）
- 文化協会との連携により、新型コロナウイルス感染症拡大対策の徹底を図ることで、安心して来場できる環境づくりに努めた。（検温、消毒、名簿管理 等）
- 市広報やSNS、他部署の広報媒体などを活用し、PRを行った。

3 評価

評価指標	とても満足した来場者割合
実績値（令和元年度）	とても満足した来場者割合 58.3%
目標値（令和2年度）	とても満足した来場者割合 62%
総合評価	とても満足した来場者割合 48%
達成率：市美術展 77%（総合評価／目標値）	
※ミニコンサートの回数減、喫茶部門の取りやめ等展示以外の部分で、評価が得られなかった。	

4 改善策

○内容を充実させると共に、円滑な運営を行い、市民が参加して良かったと思える事業とする。

令和2年度 点検評価票〔最終〕

中期経営目標	健康づくり，体力づくりを推進する。
短期経営目標	公共スポーツ施設の利用促進を図る。

1 短期経営目標（具体）

公共スポーツ施設の利用促進を図る。

（目標値：スポーツセンター利用者 28,000 人，総合運動公園利用者 15,000 人）

2 取組・方策

○生涯スポーツの推進のため，スポーツ推進委員やeスポーツクラブ，体育協会，地域団体等と連携し，市民スポーツ大会を開催した。

日 時 10月18日(日)9時30分～12時

会 場 スポーツセンター

参加者 88人

種 目 カローリング，ボッチャ体験等



○体育協会，eスポーツクラブ，スポーツ少年団等への加入促進のため，活動団体紹介紙を市民に配布した。

○市広報やHPにおいて，スポーツセンターや運動公園を主たる活動場所としている，eスポーツクラブの活動について特集した。

3 評価

評価指標	スポーツセンター利用者，総合運動公園利用者
実績値（令和元年度）	スポーツセンター利用者 26,717 人，総合運動公園利用者 14,926 人
目標値（令和2年度）	スポーツセンター利用者 28,000 人，総合運動公園利用者 15,000 人
総合評価	スポーツセンター利用者 21,990 人，総合運動公園利用者 10,632 人
○達成率（スポーツセンター：78.5%，総合運動公園：70.8%）	
○コロナ禍の影響による利用の自粛及びイベントの中止等により，前年実績を大幅に下回っている。	

4 改善策

○新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じて，利用者が安全安心に施設を利用できるよう取り組む。

○広報活動を強化し，新規利用者の増加を図る。

令和2年度 点検評価票〔最終〕

中期経営目標	図書館の充実を図る。
短期経営目標	図書館年間貸出冊数及び来館者数の増加を図る。

1 短期経営目標（具体）

図書館年間貸出冊数及び来館者数の増加を図る。 （目標値：年間貸出冊数 82,000 冊，年間来館者数 41,000 人）

2 取組・方策

○事業実施																			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 2館2室合同の「本でめぐる 江田島しましまスタンプラリー」を7月6日～9月30日まで実施した。 ・ 小学校高学年を対象とした「子ども司書」養成講座を6月から2館において開始し、全体研修及び学校や図書館で実地研修を実施した。 ・ テーマ展示を定期的に行い、図書の利用促進を図った。 																			
○広報活動																			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 「読書貯金通帳」（大人・子ども用）及びHP「My本棚」等の活用を周知した。 ・ ミニ図書館開催について、市広報紙や防災行政無線を活用し周知に努めた。 ※大柿図書室休館に伴う代替え措置として11月から市役所本庁ロビーでも実施した。 ・ サービス案内や、図書館だより、行事案内チラシ等を市内各所に配付・掲示し、PRの強化に努めた。 	ミニ図書館の実績 ※月2回 ※5月はコロナウイルス感染症拡大防止のため中止																		
	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>場 所</th> <th>利用人数</th> <th>利用冊数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>津久茂児童館</td> <td>92</td> <td>303</td> </tr> <tr> <td>切串公民館</td> <td>178</td> <td>849</td> </tr> <tr> <td>三高会館</td> <td>144</td> <td>504</td> </tr> <tr> <td>市民サービスセンター</td> <td>49</td> <td>227</td> </tr> <tr> <td>本庁ロビー ※11月～</td> <td>44</td> <td>154</td> </tr> </tbody> </table>	場 所	利用人数	利用冊数	津久茂児童館	92	303	切串公民館	178	849	三高会館	144	504	市民サービスセンター	49	227	本庁ロビー ※11月～	44	154
場 所	利用人数	利用冊数																	
津久茂児童館	92	303																	
切串公民館	178	849																	
三高会館	144	504																	
市民サービスセンター	49	227																	
本庁ロビー ※11月～	44	154																	

3 評価

評価指標	年間貸出冊数，年間来館者数
実績値（令和元年度）	年間貸出冊数 81,843 冊，年間来館者数 40,674 人
目標値（令和2年度）	年間貸出冊数 82,000 冊，年間来館者数 41,000 人
総合評価	貸出冊数 75,792 冊，来館者数 30,300 人
○貸出冊数 75,792 冊（92.4%），来館者数 30,300 人（73.6%）	
○コロナ禍の影響により休館期間や利用制限等があったことで、目標達成は困難であった。	

4 改善策

<ul style="list-style-type: none"> ○図書館利用案内や図書館だより等を市内各所に配付または掲示し、PRを強化する。 ○WEBや電話での予約サービスや、窓口サービスの拡充（貸出・返却）について、PRを強化する。 ○大柿図書室の休館に伴う本庁市民生活課での窓口拡充サービス（貸出・返却）について、重点的にPRを行う。 ○秋の読書週間に合わせて、「読書貯金通帳」のPRを強化する。
--

令和2年度 点検評価票〔最終〕

中期経営目標	さとうみ科学館の認知度を高める。
短期経営目標	さとうみ科学館の利用者の増加を図る。

1 短期経営目標（具体）

さとうみ科学館の利用者の増加を図る。（目標値：来館者数 3,000人）

2 取組・方策

- 長期休業中の土日開館を試験的に実施（実証実験）。
 - ・小中学校の夏休み期間変更により，実施期間を8月～9月に設定（休館日無）。
 - ・テレビ，新聞による報道，広報チラシの全戸配布により土日開館について紹介。
 - ・ものづくりなどワークショップ形式の来館事業を隔週で実施（計8回）。

（参加者：延べ251人）

- ・期間中，館内クイズラリーを実施。
（来館者318団体中152団体が挑戦）

- 館内で行う観察会やイベントの実施方法を工夫。
 - ・午前・午後の2部制

- 広報紙，SNS等の活用により，PR強化を図る。

- ・テレビ，新聞等マスメディアによる施設紹介
（計8回）
- ・子どもとお出かけ情報サイト「いこーよ」活用による情報発信
- ・SNS（Instagram）による情報発信

※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため，5月19日まで休館，自然観察会は4月～6月は中止。

来館者数の推移（人）

月	令和元年度			令和2年度		
	市内	市外	合計	市内	市外	合計
4月	79	43	122	33	3	36
5月	191	154	345	17	0	17
6月	195	194	389	31	1	32
7月	156	43	199	95	42	137
8月	159	97	256	338	173	511
9月	149	21	170	284	172	456
10月	213	163	376	236	45	281
11月	154	55	209	91	30	121
12月	79	14	93	29	34	63
1月	125	24	149	33	55	88
2月	36	7	43	28	19	47
3月	64	31	95	252	68	320
合計	1,600	846	2,446	1,467	642	2,109

3 評価

評価指標	来館者数
実績値 （令和元年度）	来館者数 2,446人
目標値 （令和2年度）	来館者数 3,000人
総合評価	来館者数 2,109人

- 長期休業中の土日開館期間中の来館者数は，昨年度同期間実績を上回ったが，年間来館者数は下回った。
- 事業参加者数（館外事業・入館事業含む）2,491人も，令和元年度実績（7,729人）を大きく下回った。
- 来館者数・事業参加者数ともに，新型コロナウイルス感染症対策の影響（休館・イベントの中止）あり。

4 改善策

- 令和3年度も引き続き，土日開館を試験的に実施する（実証実験）。
- 観察会・研修会や館内見学の実施方法を工夫することで，事業への参加や来館しやすい環境づくりを行う。
- PR活動は今後も計画通り取り組む。

3 外部評価委員の意見

外部評価委員名簿

	氏名	備考
委員長	田丸 正実	学校関係者 (元鹿川小学校校長)
副委員長	藤本 真砂子	社会教育関係者 (社会教育委員)
委員	渡辺 高久	市関係者 (元江田島市教育委員会教育次長)

(1) 信頼される学校づくりを推進する

江田島市内の各小中学校において、数年来にわたって不祥事は、生起していない。このことは教職員一人一人が服務に対する理解と自覚が高まっているものと推測できる。とりわけ教育委員会の指導助言が年間計画に位置付けられ、校長会・教頭会を始め、各種の研修会等において実施されたことが大である。

また、各小中学校においても継続した研修が行われ、5月を「不祥事根絶強化月間」とし、重点的に取り組まれていた。

短期経営目標である「教職員による不祥事を0（ゼロ）にする」目標は達成できている。このことを高く評価したい。

新たに中期経営目標として「信頼される学校づくりを推進する」ことを掲げている。各学校長がリーダーシップを発揮し、日々取り組まれているが、更なる信頼される学校づくりを目指してもらいたいと願っている。そのための指導助言をお願いしたい。

(2) 児童生徒の学力の向上を図る

昨年度は、新型コロナウイルスの感染症対策のため、全国学力・学習状況調査が中止となったが、こうした中、市独自で学力状況調査を実施したことを評価したい。

しかしながら、ほとんどの学年で全国平均を下回る結果となっている。各小中学校の管理職及び教務主任を対象に調査結果の説明会が実施され、分析及び指導方法の改善計画等について指導助言を行っていることは効果的である。

長期の臨時休業のため、計画どおり推進することが難しい1年であったように思う。その中で、各小中学校の研究主任を対象にした「『学びの変革』推進協議会」が実施されたことは注目すべきである。協議された内容が、各小中学校で組織的に取り込まれ、主体的・対話的で、深い学びの実現に向けた授業改善が行われていくことを切に望む。

次年度への改善策が、更なる学力向上へつながることを期待したい。

(3) 児童生徒の豊かな心を育成する

「不登校児童生徒への取組を充実させる」ことを目標として設定し、不登校傾向の児童生徒の状況を十分に把握するよう努めていた。さらに欠席日数が長期化している児童生徒が所属する学校へは、実態に応じた指導助言を行っている。

目標を達成できなかった要因は、様々あると思われるが、これからも教育委員会と学校が連携を密にし、不登校児童生徒が安心できる居場所づくりへの支援や、関係機関等への協力要請も必要ではないかと思う。今後不登校児童生徒が減少していくための取組をお願いしたい。

また、平素からいじめの未然防止や早期発見に努めるとともに、9月を「いじめ撲滅月間」と位置付け、児童生徒の主体的な活動やアンケートの実施・分析を行い、保護者や地域の方へも周知していることは評価したい。これからも教職員と児童生徒、児童生徒間の共感的な人間関係が、より深まっていくことを切に願っている。

(4) 児童生徒の体力の向上を図る

新たに短期経営目標「体力・運動能力を向上させる」ことが設定された。令和2年度は、新型コロナウイルスの感染症対策のため、小中学校が長期にわたり臨時休業となった。自宅で過ごすことが多い児童生徒の体力が低下しつつあるのではないかと多くの方が心配していた。

臨時休業中の体力づくりに係る資料を教育委員会から各小中学校へ周知し、各校の

取組につながるようにしたことは重要なアドバイスになったように思う。体力向上に係る中学校の授業研究実施（3回）は注目すべきである。小中学校教員間での授業交流等を通して、更なる指導の充実を期待している。

体力・運動能力の全国平均以上の割合が向上してきている状況であったが、コロナ禍における臨時休業等の影響で体力・運動能力調査は実施されなかったことから、実態を把握することができなかった。次年度は、実施できるようお願いしたい。今後、更なる体力向上に向けた取組に期待したい。

（5）魅力ある事業づくりを推進する

新たに短期経営目標「実施事業に対する満足感の向上を図る」を設定し、対象を4事業について取り組まれたが、新型コロナウイルス感染症対策のため、3事業は実施ができなかった。1事業については、感染予防対策を十分に行い開催したことは評価できる。

講演会等の実施ができなかった事業については、ビデオに収録し研修会での活用やオンラインでの情報発信等今後の検討課題にしてもらいたい。

改善策が次年度の事業に向けて充実した内容になることを期待している。

（6）健康づくり、体力づくりを推進する

公共スポーツ施設の利用促進を図るための取組がなされていたが、新型コロナウイルスの感染症対策により、スポーツセンター・総合運動公園の利用の自粛やイベントの中止等の影響で目標値を下回った結果になった。今後、感染拡大防止対策を図りながら、利用者が安全安心して施設を使用できるようお願いしたい。

また、児童生徒数が減少傾向にある中、スポーツ少年団への加入者や参加者が心配される。継続できるよう更なる支援をお願いしたい。

今後、市民の健康づくりや体力づくりの推進へ向けて、各関係団体との連携や市部局間でのイベント共催等の企画を検討してみてもどうか。市民にとってスポーツ施設が気軽に利用・集える場になるようお願いしたい。

(7) 図書館の充実を図る

「本でめぐる江田島しましまスタンプラリー」「子ども司書」「読書預金通帳」「テーマ展示」等、アイデアに富んだ取組は高く評価したい。また、ミニ図書館の開催により地域の方にとっては、利用しやすくなっている。楽しみにしている方もおられ、今後も継続できるようお願いしたい。

「子ども司書」養成講座への参加児童も年々増え、充実した取組がなされている。さらに、利用案内・イベント案内・予約サービス・窓口サービス等、市民への周知方法を工夫し、取り組まれていた。職員の熱意が強く感じられる。

新たに「年間来館者数」が目標値として設定され、今後、総合評価・分析する上で参考になるものと思う。これからも気軽に来館できる場になるようお願いしたい。

(8) さとうみ科学館の認知度を高める

新たに「さとうみ科学館の利用者の増加を図る」ことを短期経営目標に掲げ、その達成に向けた取組を高く評価したい。特に、コロナ禍においても感染予防対策を十分に行った上で土曜日・日曜日開館の実証実験を試みたことや、長期休業中にサイエンスショーやものづくりワークショップの実施等、注目すべき内容である。

さらにPR活動も積極的に行い、中でもマスコミ等のメディアによる紹介は、さとうみ科学館の認知度を高めていくことにつながったように思う。

今後も事業への積極的な参加や地域への働きかけなど、来館しやすい環境づくりに期待したい。

4 総合評価

今回、短期経営目標に基づく8事業に対して意見を付した。

令和2年度から5事業（信頼される学校づくり，児童生徒の体力向上，魅力ある事業づくり，健康づくり・体力づくり，さとうみ科学館の認知度）については，新たな中期経営目標が設定された。3事業は，継続した事業になっている。このことは教育委員会が重点的に取り組む内容を精査したものと評価できる。

目標値へ向けた取組は着実に推進されていたが，新型コロナウイルスの感染症対策の影響で施設の臨時休館，小中学校の臨時休業，イベント等の中止により，当初の計画を変更するに至っている。

最終的に目標値に到達した事業は少なかったが，新型コロナウイルス感染症対策のための対応に尽力されたのではないかと思われる。教育委員会職員一人一人の熱意に感謝したい。

今後，各小中学校で更なる「信頼される学校」を目指した取組により，校長を中心とした学校体制の確立が強固になることを切に望むものである。そのために教育委員会としての指導助言及び様々な支援をお願いしたい。

次年度へ向けた8事業の各改善が活かされ，2年目がより一層充実し，発展することを期待したい。

5 その他

(1) 教育委員会の活動状況

ア 教育委員会委員

職名	氏名	性別	備考
教育長	小野藤 訓	男	元教育関係者
教育長職務代理者	三島 雅司	男	元行政関係者
委員	樋上 美由紀	女	元教育関係者
委員	柳川 政憲	男	自営業者・保護者
委員	泊野 仁美	女	保護者

イ 教育委員会会議の開催状況

定例会 12回, 臨時会 4回

そのうち 9月 23日(木) 中町小学校訪問

1月 19日(火) 大柿中学校訪問

ウ 教育委員会会議の議決事項

番号	期日	種別	件名
1	4月 13日	臨時会	・新型コロナウイルス感染症対策のため江田島市立学校における一斉臨時休業
2	4月 20日	定例会	・学校評議員の委嘱 ・令和2年度江田島市教育委員会経営計画及び自己評価表 ・教育委員会の附属機関の委員の委嘱 ・教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免
3	4月 28日	臨時会	・江田島市立学校における一斉臨時休業の延長
4	5月 18日	定例会	・江田島市公民館設置及び管理条例の一部を改正する条例案 ・江田島市教育委員会公印規則及び江田島市選挙運動のためにする個人演説会等開催のために必要な設備の程度等に関する規則の一部を改正する規則案 ・令和3年度に市立学校で使用する教科用図書の採択基本方針案 ・江田島市学校給食共同調理場運営委員会の委員の委嘱 ・江田島市教育委員会及び教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免について
5	6月 15日	定例会	・江田島市教育員会事務点検・評価報告書(令和元年度事業対象)案 ・江田島市立学校職員ストレスチェック制度実施に関する規程の一部を改正する訓令案 ・江田島市教科用図書採択地区中学校選定委員会委員及び調査員の委嘱 ・教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免
6	7月 20日	定例会	・請願書(2021年度使用中学校教科書の採択に係る請願) ・江田島市教育支援委員会委員の委嘱 ・令和2年度江田島市一般会計補正予算(第2号)(教育委員会関係分) ・教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免

7	8月24日	定例会	<ul style="list-style-type: none"> ・江田島市立学校施設使用条例の一部を改正する条例案 ・江田島市立学校の教育職員の業務量の適切な管理等に関する規則案 ・令和3年度に市立中学校で使用する教科用図書の採択 ・令和3年度に小・中学校特別支援学級で使用する教科用図書の採択 ・令和2年度江田島市一般会計補正予算（第3号）（教育委員会関係分） ・教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免
8	9月23日	定例会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年秋の叙勲候補者（教育功労）の推薦 ・令和2年度江田島市一般会計補正予算（第4号）（教育委員会関係分） ・教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免
9	10月19日	定例会	<ul style="list-style-type: none"> ・江田島市立学校施設使用条例の一部を改正する条例案 ・江田島市立学校の教育職員の業務量の適切な管理等に関する規則案 ・令和3年度に市立中学校で使用する教科用図書の採択 ・令和3年度に小・中学校特別支援学級で使用する教科用図書の採択 ・令和2年度江田島市一般会計補正予算（第3号）（教育委員会関係分） ・教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免
10	11月25日	定例会	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免
11	12月21日	定例会	<ul style="list-style-type: none"> ・江田島市人権教育推進プランの改訂 ・教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免
12	1月19日	定例会	<ul style="list-style-type: none"> ・江田島市体育施設設置及び管理条例の一部を改正する条例案 ・江田島市体育施設管理規則の一部を改正する規則案 ・社会教育委員の選任 ・公民館運営審議会委員の選任 ・学びの館運営委員会委員の選任 ・文化財保護委員会委員の選任 ・図書館協議会委員の選任 ・令和2年度江田島市一般会計補正予算（第6号）（教育委員会関係分） ・教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免
13	2月15日	定例会	<ul style="list-style-type: none"> ・江田島市奨学金貸付条例施行規則の一部を改正する規則案 ・江田島市立図書館管理運営規則の一部を改正する規則案 ・江田島市教育委員会事務局決裁規程の一部を改正する訓令案 ・江田島市図書館協議会運営規程案 ・令和2年度江田島市一般会計補正予算（第8号）（教育委員会関係分） ・江田島市教育委員会外部評価委員会委員の委嘱 ・江田島市スポーツ推進委員の委嘱 ・教育委員会の所管に属する学校の職員の任免 ・教育委員会の所管に属する教育機関の職員の任免3

14	3月16日	臨時会	・教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免
15	3月17日	定例会	・令和2年度江田島市一般会計補正予算（第8号）（教育委員会関係追加分） ・令和3年度江田島市一般会計予算（教育委員会関係分） ・令和3年度江田島市一般会計補正予算（第1号）（教育委員会関係分）
16	3月22日	臨時会	・江田島市教育委員会の職員の任免

（2）教育長及び教育委員の活動

ア 研修会への出席

期日	件名	場所	出席者
4月15日	第1回広島県市町教育長会議	広島市	中止
4月27日	広島県都市教育長会春の総会	書面決議	教育長
5月8日	広島県市町教育委員会連合会役員会	書面決議	教育長
5月14日	広島県都市教育長会情報交換会	Web会議	教育長
5月18日	第2回広島県市町教育長会議	Web会議	教育長
5月19日	全国市町村教育委員会連合会定期総会	書面決議	教育長
5月21日	全国都市教育長協議会定期総会並びに研究大会	書面決議	教育長
5月28日	広島県市町教育委員会連合会定期総会	書面決議	教育長
6月2日	広島県市町教育委員会連合表彰状伝達式	江田島市	教育長
7月30日	広島県都市教育長会情報交換会 第3回広島県市町教育長会議	Web会議	教育長
10月21日	広島県市町教育委員会連合会教育委員研修会	広島市	中止
10月22日	広島県都市教育長会秋の総会	Web会議	教育長
11月17日	市町村教育委員会オンライン協議会	Web会議	教育長
11月25日	総合教育会議	江田島市	教育長 委員4名
1月22日	第4回広島県市町教育長会議	Web会議	教育長

イ 式典への出席

小中学校入学式における教育委員会告辞（新型コロナウイルス感染症対策のため欠席）

ウ その他

各委員による学校行事をはじめ教育委員会所管施設の各種行事への参加、各種委員としての参加

令和2年度江田島市教育委員会経営計画

I 使命

子どもたちが夢や目標を持って学び、育ち、市民一人ひとりが、生涯を通じて、学び、活動し、生きがいを感じ輝くことは、豊かな暮らしの基盤となる。

このため、学校教育では、児童生徒が生涯を生き抜く力、社会で通用する力を養う基盤づくりをし、次のステージで活躍できる児童生徒の育成を義務教育の使命とし、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」をバランスよく育成し、その水準の向上に努める。

また、生涯学習では、公民館活動などの社会教育をはじめ、スポーツ振興における普及・啓発活動や、文化・芸術・スポーツにおける学習機会の確保と社会教育施設の整備・充実に努める。

さらに、里海教育では、自然体験活動や探究活動など、自然に親しみ、自然に学ぶ場や機会の整備・充実に努める。

これらの理念を合わせることで、相乗効果を生み、「人が育ち、輝くまち」を目指す。

II めざす姿

【児童生徒像】

○生涯を生き抜く力である「知（学力・技能）」「徳（道徳心、人権尊重、他者理解）」「体（健康、体力）」がバランスよく育成されるとともに、それらを活用する力や社会性が育成されている。
また、生命を尊び、自然を大切にし、郷土を愛する豊かな心が育成されている。

【学校像】

○組織的な学校体制のもとで、教職員を育成し、学校・家庭・地域の連携により、信頼される学校づくりを目指している。

【市民像】

○文化・芸術・スポーツ等の生涯学習活動において、市民一人ひとりが、生きがいを感じ、生き生きと暮らしている。

III 現状分析

【学校教育】

○教職員の懲戒処分については、令和元年度も発生していない。

（平成28・29・30年度も発生していない。）

○令和元年度全国学力・学習状況調査の平均正答率については、小学校は、国語、算数ともに全国平均を上回った。中学校は、国語は全国平均を上回ったが、数学は下回った。

（平成30年度全国学力・学習状況調査の平均正答率については、小学校（国語・算数）及び中学校（国語・数学）の全ての実施教科で全国平均を上回った。）

○生徒指導上の諸問題において、令和元年度不登校児童生徒の割合は、小学校0.83%（6人）、中学校1.81%（7人）である。

（平成30年度不登校児童生徒の割合 小学校0.74%（6人）、中学校1.74%（7人））

○令和元年度体力・運動能力調査の全国平均以上の種目数の割合は、61.8%である。

（平成30年度体力・運動能力調査の全国平均以上の種目数の割合 82.6%）

【生涯学習】

○令和元年度の生涯学習講演会、人権学習講演会、市美術展の来場者について「とても満足した」の割合は、58.3%であった。（来場者アンケート）

○スポーツセンターの令和元年度利用者数は26,717人、総合運動公園の利用者数は、14,926人である。

○図書館の令和元年度年間貸出数は81,843冊、来館者数は40,674人である。

（大柿図書室は令和2年度～4年度中休館のため含まない。）

【里海教育】

○さとうみ科学館の令和元年度来館者数は2,446人である。

（館外事業・入館事業を含む総利用者数は、7,957人である。）

IV 目標及び取組

	中期経営目標	短期経営目標	具体的な取組・方策
学校教育	信頼される学校づくりを推進する。	教職員による不祥事を0(ゼロ)にする。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 服務研修の充実に向けて、各校が実施した服務研修の好事例を活用し、市主催研修において指導助言を行う。 ○ 5月を「不祥事根絶強化月間」とし、重点的な取組を行う。 ○ 全児童生徒、保護者、教職員に「体罰」「セクシュアル・ハラスメント」のアンケートを毎学期実施する。 ○ 学校における「働き方改革」及び開かれた学校づくりの推進(HPの充実等)に向けて、主催研修等において指導助言を行う。
	児童生徒の学力の向上を図る。	習得した知識・技能を活用する力を向上させる。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 主体的・対話的で深い学びの視点に基づいた授業改善が組織的に推進されるよう、『学びの変革』推進協議会を活用し、指導助言を行う。 ○ 江田島市小中学校学力調査を活用し、学力向上に係る事前の取組が各校で効果的に行われるよう、教務主任研修等において指導助言を行う。 ○ 江田島市小中学校学力調査の結果を踏まえ、学力向上に係る事後の取組が、各校で組織的に行われるよう指導助言を行う。
	児童生徒の豊かな心を育成する。	不登校児童生徒への取組を充実させる。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 不登校やいじめ防止につながるアンケートを実施し、教育相談体制が充実するよう指導助言を行う。 ○ 各校の不登校傾向の児童生徒の状況把握及び実態に応じた指導助言を行うとともに、不登校児童生徒の状況が改善するよう、再登校に向けた指導助言を行う。 ○ 各校の道徳教育及び体験活動が充実するよう、「江田島市道徳教育推進協議会」を活用し、指導助言を行う。
	児童生徒の体力向上を図る。	体力・運動能力を向上させる。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 体育科授業において、体力向上に係る取組が充実するよう、主催研修及び「江田島市体力向上推進協議会」を活用し、指導助言を行う。 ○ 業間運動及び部活動等において、体力向上に係る取組が充実するよう指導助言を行う。 ○ 児童生徒の食生活が充実するよう、学校・家庭・地域が一体となった食育推進に係る指導助言を行う。
生涯学習	魅力ある事業づくりを推進する。	実施事業に対する満足感の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市民ニーズを捉え、様々な学びに対する関心を高める企画内容とする。 ○ 事前準備や運営に係る調整を徹底し、円滑な運営に努める。 ○ 学校や関係団体と連携を図ると共に、市広報やSNSだけでなく、他部署の広報媒体なども活用し、PRの強化を図る。
	健康づくり、体力づくりを推進する。	公共スポーツ施設の利用促進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○ スポーツ推進委員や関係団体等と連携し、総合運動公園やスポーツセンターを活用した生涯スポーツ体験会を開催する。 ○ 体育協会、eスポーツクラブ、スポーツ少年団への加入・参加を推進する。 ○ HP・広報等を活用し、社会体育施設や活動をPRする。
	図書館の充実を図る。	図書館年間貸出冊数及び来館者数の増加を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「スタンプラリー」「読書貯金通帳」の活用や、参加型講座、読み聞かせ等の実施により、自主的な読書活動を促す。 ○ 「子ども司書」養成講座を実施する。 ○ 窓口拡大サービスや、施設利用に関するチラシ等を関係施設へ配布・掲示するなど、PRの強化に努める。
里海教育	さとうみ科学館の認知度を高める。	さとうみ科学館の利用者の増加を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 長期休業中の土日開館を試験的に実施する(実証実験)。 ○ 長期休業中、サイエンスショーやものづくりなどワークショップ形式の来館事業(サイエンスラボ・サイエンス工房)を実施する。 ○ 広報紙、SNS等の活用により、PR強化を図る。

	中期経営目標	短期経営目標	評価項目	評価指標	実績値		目標値		評価 (自己評価の結果)	改善策
					令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
学 校 教 育	信頼される学校づくりを推進する。 児童生徒の学力の向上を図る。	教職員による不祥事を0(ゼロ)にする。 児童生徒の学力の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 服研研修の充実に向けて、各校が実施した服研研修の好事例を活用し、市主催研修において指導助言を行う。 ○ 5月を「不祥事根絶強化月間」とし、重点的な取組を行う。 ○ 全児童生徒、保護者、教職員に「体罰」「セクシュアル・ハラスメント」のアンケートを毎学期実施する。 ○ 学校における「働き方改革」及び働き方に関する学校づくりの推進(HIPの実果等)に向けて、主催研修等において指導助言を行う。 ○ 主体的・対話的で深い学びの観点に基づいた授業改善が組織的に推進されるよう、「学研協働」を活用し、指導助言を行う。 ○ 江田島市小中学校学力調査を活用し、学力向上に係る事前の取組が各校で効果的に行われるよう、教務主任研修等において指導助言を行う。 ○ 江田島市小中学校学力調査の結果を踏まえ、学力向上に係る事後の取組が、各校で組織的に行われるよう指導助言を行う。 ○ 不登校やいじめ防止につながるアンケートを実施し、教育相談体制が充実するよう指導助言を行う。 ○ 各校の不登校傾向の児童生徒の状況把握及び実態に応じた指導助言を行うとともに、不登校児童生徒の状況が改善するよう、再登校に向けた指導助言を行う。 ○ 各校の道徳教育及び体験活動が充実するよう、「江田島市道徳教育推進協議会」を活用し、指導助言を行う。 ○ 体育科授業において、体力向上に係る取組が充実するよう、主催研修及び「江田島市体力向上推進協議会」を活用し、指導助言を行う。 ○ 業間運動及び部活動等において、体力向上に係る取組が充実するよう指導助言を行う。 ○ 児童生徒の食生活が充実するよう、学校・家庭・地域が一体となった食育推進に係る指導助言を行う。 	江田島市小中学校学力調査(標準学力調査)の平均正答率(全国値との比較)	0件	0件	0件	0件	0件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校長会、教頭、事務長会において、「職務規律の確保」に関して講話を行う等、取組を行う。 ・ 第2回「学びの姿(変革)推進協議会(1月)」において、各校で研究主任を中心とした主体的な取組を促す授業改善等について指導助言を行う。 ・ 教務主任研修(2月)において、各校において改善計画に基づいた取組が組織的に行われるよう指導助言を行った。
			<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童生徒の豊かな心を育成する。 	不登校児童生徒の割合	小:0.83% (6人) 中:1.81% (7人)	小:0.42% (3人) 中:1.28% (5人)	小:0.28% (2人) 中:1.03% (4人)	小:0.14% (1人) 中:0.51% (2人)	小:0.69% (5人) 中:3.33% (13人)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「いじめ撲滅月間」における各学校の取組を整理し、自校の取組に生かすよう指導助言を行う。 ・ 不登校傾向の児童生徒の状況を把握しながら継続的な支援を行い、各校の実態に応じた指導助言を行う。
			<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童生徒の体力向上を図る。 	体力・運動能力を向上させる。	61.8%	67%	72%	77%	—	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広島県教育委員会豊かな心と身体育成課と連携を図り、体育科授業において、体力向上に係る指導が充実するよう取組を行う。 ・ 児童生徒の食生活が充実するよう、学校・家庭・地域が一体となった食育推進に係る指導助言を行う。
			<ul style="list-style-type: none"> ○ 魅力ある事業づくりを推進する。 	実施事業に対する満足感の向上を図る。	58.3%	62%	66%	70%	48%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 内容が充実させると共に、円滑な運営を行い、市民が参加し良かったと思える事業とする。
生 涯 学 習	健康づくり、体力づくりを推進する。	公共スポーツ施設の利用促進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○ スポーツ推進委員や関係団体等と連携し、総合運動公園やスポーツセンターを活用した生涯スポーツ体験会を開催する。 ○ 体育協会、eスポーツクラブ、スポーツ少年団への加入・参加を推進する。 ○ HIP、広報等を活用し、社会体育施設や活動をPRする。 	スポーツセンター利用者 総合運動公園利用者	26,717人 14,926人	28,000人 15,000人	29,000人 15,500人	30,000人 16,000人	21,990人 10,632人	<ul style="list-style-type: none"> ・ 感度向上防止対策を講じて、利用者が安全安心に施設を利用できるよう取り組む。 ・ 広報活動を強化し、新規利用者の増加を図る。
			図書館年間貸出冊数及び来館者数の増加を図る。	年間貸出冊数 年間来館者数	81,843冊 40,674人	82,000冊 41,000人	83,000冊 41,500人	84,000冊 42,000人	75,792冊 30,300人	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館利用案内等を市内各所に掲示し、PRを強化する。 ・ W E B 予約サービスや、窓口サービスの拡大(貸出・返却)について、PRを強化する。 ・ 大規模改装の開始に伴う更なる窓口拡充について、重点的にPRを行う。 ・ 秋の読書週間に合わせて、「読書貯金通帳」のPRを強化する。
里 海 教 育	さとらみ科学館の認知度を高める。	さとらみ科学館の利用者の増加を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 長期休業中の土日開館を積極的に実施する(実証実験)。 ○ 長期休業中、サイエンスショーやものづくりなどワークショップ形式の来館事業(サイエンスラボ、サイエンス工房)を実施する。 ○ 広報紙、SNS等の活用により、PR強化を図る。 	来館者数 (教育事業・一般来館含む)	2,446人 3,000人	3,000人 3,000人	3,300人 3,300人	3,600人 3,600人	2,109人	<ul style="list-style-type: none"> ・ 土日開館の実証実験、観覧会、研修会や館内見学の実施方法を工夫し、目標値に近づける。 ・ PR活動は、今後も計画通り取り組む。